

比較文学比較文化コース

伊藤 徳也

1. 研究・研究成果の公刊

(1) 論文

- ・「竹内好の周作人論」(『周作人研究通信』第5号)、pp. 16-20
- ・「尾坂徳司『かえり見すれば』の中の周作人と日中学院」(『周作人研究通信』第6号)、pp. 16-18
- ・《談談“生活的藝術”的思想的基礎》(『周作人研究通信』第6号)、pp. 38-48

(2) 学会、研究会発表

- ・「周作人「西山小品」の諸問題——日中近代文学史における」(「異文化間における日本研究・日本語教育に関する国際シンポジウム」於南京大学外国語学院2017年5月27日)

(3) 書評、記事、エッセー、その他

- ・「周作人「礼の必要」について(付日本語訳)」(『周作人研究通信』第6号) pp. 11-12
- ・「周作人《浄観》の中に現れた文化論の三つの位相——[付]「浄観」日本語訳——」(『周作人研究通信』第7号) pp. 16-20
- ・「エモ」い趣——周作人研究横向備忘録(1)」(『周作人研究通信』第7号) pp. 31-34
- ・「微型小説あるいはSFとしての《夏夜夢》——周作人研究横向備忘録(2)」(『周作人研究通信』第7号) pp. 35-39

2. 教育実績

(1) 前期課程担当科目

中国語、全学自由研究ゼミナール

(2) 後期課程担当科目

比較文化論

(3) 大学院担当科目

比較ナラトロジー

3. 学内行政業務

教養教育高度化機構国際連携部門LAP運営委員、大学院比較文学比較文化コース運営委員、中国語部会副主任

今橋 映子

1. 研究・研究成果の公刊

(2) 論文

1. 単著

- ・「明治大正期日本のアートドキュメンテーション——美術批評家・岩村透による国内外美術情報の構築とその思想(上)」(『超域文化科学紀要』第22号、2017年10月、109-154頁)

(3) 学会、研究会発表

- ・「〈パリ写真〉の愉しみ——都市の神話と外国人写真家たち」(CP + CAMERA & PHOTO IMAGING SHOW 2018 講演会 2018年3月3日 於：パシフィコ横浜会議センター)

(4) 書評、記事、エッセー、その他

- ・「ラ・ボエーム」の世界によろこそ——19世紀パリの都市神話と世界への伝播」(ニッセイ名作シリーズ2017 オペラ『ラ・ボエーム』日生劇場)パンフレット、公益財団法人ニッセイ文化振興財団、2017年6月、20-23頁)
- ・書評「須田慎太郎『写真家 三木淳と「ライフ」の時代』平凡社2017年」(『日本経済新聞』2017年11月4日、朝刊)

2. 教育実績

- (1) 前期課程担当科目
フランス語一列①、フランス語二列
- (2) 後期課程担当科目
比較文化論Ⅲ、比較芸術論演習
- (3) 大学院担当科目
比較文学比較文化演習Ⅲ

3. 学内行政業務

比較文学比較文化研究室副主任、大学院超域文化科学専攻運営委員、駒場博物館委員

||| 大石 紀一郎

||| 大西 由紀

1. 研究・研究成果の公刊

(2) 論文

1. 単著

- ・「叙景、叙事、叙情の歌——オペラの受容と日本語音楽劇の近代」(博士論文、東京大学大学院総合文化研究科、平成29年4月27日学位授与)
- (3) 学会、研究会発表
・博士論文発表「叙景、叙事、叙情の歌——オペラの受容と日本語音楽劇の近代」(東洋音楽学会東日本支部第100回定例研究会、平成29年12月2日、於東京大学駒場キャンパス)
- (4) 書評、記事、エッセー、その他
・「田谷力三とその時代」(株式会社ムジカ・チェレステ『田谷力三物語～恋はやさし、野辺の花よ～』公演パンフレット、平成29年9月20日、於浅草花やしき内・花やしき座)
- (5) 辞書編纂、翻訳、上演等、その他
・レクチャーコンサート「100年前の異文化受容 浅草オペラという娯楽」企画、当日パンフレット執筆、ミニレクチャー(東京大学大学院総合文化研究科・教養学部オルガン委員会主催、平成29年7月21日、於東京大学駒場キャンパス)

2. 教育実績

- (1) 前期課程担当科目
初年次ゼミナール「翻訳によって書かれたテキスト」の研究」
- (4) 他学部、他研究科、他大学の授業科目
翻訳論、翻訳実習1、翻訳実習2(明星大学人文学部)

梶谷 真司

1. 研究・研究成果の公刊

(3) 学会、研究会発表

- ・ Lokale Gemeinschaftsbildung am Beispiel der Ästhetisierung von Umweltproblemen, 於 ハレー・ヴィッテンベルク大学, Gesine Foljanty-Jost教授のゼミ, 2017年5月2日, ドイツ.
- ・ 「対話による自由と共生」、明治大学学部間共通総合講座「環境人文学 I : ローカル・スタンダードをデザインする」(コーディネーター: 鞍田崇), 2017年7月19日, 於 明治大学駿河台キャンパス.
- ・ 「言葉の中の身体——医学書・養生書における東洋的身体の多層性」、明治大学人文科学研究所総合研究「現象学の異境的展開」第4回講演会 江戸の身体観・死生観～現象学のアプローチ, 2017年8月26日, 明治大学駿河台キャンパス.
- ・ 「哲学対話から見たファシリテーション——共に考えるコミュニティの作り方」, 日本ファシリテーション協会東京支部9月定例会, 2017年9月23日, 於 北とびあ(東京都北区王子).

2. 教育実績

(1) 前期課程担当科目

ドイツ語1列、比較文化論

(2) 後期課程担当科目

倫理宗教論演習

(3) 大学院担当科目

神話と文化II(歴史・記憶・教育I)、Normative Basis of Global Society、グローバル共生実践演習III(Experimental Study on Global Society)、日独研究特殊研究、日独研究論I・II、多文化共生・統合人間学演習II

(4) 他学部、他研究科、他大学の授業科目

ヨーロッパ地域の社会と文化(帝京大学)、哲学(東京女子医科大学)

3. 学内行政業務

ドイツ・ヨーロッパ研究センター(DESK) 執行委員, 日独共同大学院(IGK) コーディネーター, 多文化共生・統合人間学プログラム(IHS) 運営委員・「格差・人権」ユニットリーダー, 国際人材養成プログラム(GSP) 運営委員, 共生のための国際哲学研究センター(UTCP) センター長, 連携機構ヒューマニティーズセンター(HMC) 運営委員

Hermann Gottschewski

1. 研究・研究成果の公刊

(3) 学会、研究会発表

- ・ “Formation of Musical Time as a Process of Communication”, Conference *Troubling Time*, The University of Manchester, 2017年6月2日

(4) 書評、記事、エッセー、その他

- ・ Rezension: Margaret MEHL: *Not by Love Alone. The Violin in Japan, 1850-2010*, in: JAPONICA HUMBOLDTIANA, Bd. 19 (2017), S. 175-202

(5) 辞書編纂、翻訳、上演等、その他

- ・作品 *Meditation und Fuge über „Ein feste Burg ist unser Gott“ für ein Tasteninstrument* (2017年8月作曲、2017年10月25日初演、<https://www.youtube.com/watch?v=K5IgkezKjS4>)
- ・作品 *Choralbearbeitung über „Nun komm, der Heiden Heiland“ für ein Tasteninstrument* (2017年6月作曲、2017年10月25日初演、<https://www.youtube.com/watch?v=K5IgkezKjS4>)
- ・編曲 *Johann Walter „Ein feste Burg ist unser Gott“ für einmanualige Orgel* (2017年10月編曲、2017年10月25日初演、<https://www.youtube.com/watch?v=K5IgkezKjS4>)
- ・編曲 *Johann Walter „Nun komm, der Heiden Heiland“ für einmanualige Orgel* (2017年10月編曲、2017年10月25日初演、<https://www.youtube.com/watch?v=K5IgkezKjS4>)
- ・第27回 日本管打・吹奏楽アカデミー賞(研究部門)受賞(2017年4月)

2. 教育実績

(1) 前期課程担当科目

古典語初級(ラテン語)II、ドイツ語中級作文

(2) 後期課程担当科目

共通ラテン語(7)、芸術作品分析法IV(講義題目:器楽曲の形式)

(3) 大学院担当科目

ジャンル交渉論II(講義題目:音楽受容の条件と過程)

(4) 他学部、他研究科、他大学の授業科目

放送大学(ラジオ講座)「ラテン語の世界」、放送大学千葉学習センター「日本音楽の近代」

3. 学内行政業務

後期課程比較文学比較芸術分科副主任、オルガン委員会(委員長)、ピアノ委員会

||| 齊藤 渉

1. 研究・研究成果の公刊

(1) 著書

3. 共著

- ・高橋輝暁編『人間形成としての教養——ハンガリー、フィンランド、日本におけるドイツ的理念の受容と将来展望』、春風社、2018年。
- ・大浦康介編『日本の文学理論——アンソロジー』、水星社、2017年。

(3) 学会、研究会発表

- ・「啓蒙期の対話ジャンルについて」(科研費共同研究「啓蒙とフィクション」研究発表会、2018年2月18日(日)、名古屋大学(東山キャンパス))
- ・「ドイツ語圏におけるフォントネル受容」(科研費共同研究「啓蒙とフィクション」研究会、2017年11月18日(土)、梅田阪急ビルオフィスタワー)
- ・J. ハーバーマス『哲学論文集』第5巻(2008)「メタ哲学的考察」諸論考を読む」(批判的社会理論研究会 第32回研究例会、2017年9月10日(日)、東北学院大学サテライトステーション)

2. 教育実績

(1) 前期課程担当科目

ドイツ語中級(TLP演習)、共通ドイツ語(精読)、ドイツ語特修

(2) 後期課程担当科目

現代哲学(超域文化科学高度教養)、文化社会論

- (3) 大学院担当科目
比較モダニティ論II(欧州公共秩序思想)

3. 学内行政業務

ドイツ語部会教務委員、TLP運営委員会(ドイツ語委員)、紀要編集委員

||| 桜井 英治

1. 研究・研究成果の公刊

- (1) 著書
1. 単著
・『交換・権力・文化』みすず書房、2017年、312頁
- (2) 論文
1. 単著
・「貴人に連なるということ」『観世』84巻11号、2017年、26-34頁

2. 教育実績

- (1) 前期課程担当科目
歴史Ⅱ・初年次ゼミナール文科・人文科学ゼミナール
- (2) 後期課程担当科目
日本文化研究法Ⅱ・論文指導
- (3) 大学院担当科目
基層文化形成論Ⅱ(文明過程論Ⅰ・Ⅱ)
- (4) 他学部、他研究科、他大学の授業科目
中世社会論(人文社会系研究科)・日本史特論(東北大・院)・日本史各論(東北大・文)

3. 学内行政業務

学際日本文化論コース主任

||| 佐藤 光

1. 研究・研究成果の公刊

- (2) 論文
1. 単著
・「武者小路実篤とウィリアム・ブレイク——共生と競争の狭間で」、『超域文化科学紀要』第22号(東京大学大学院総合文化研究科超域文化科学専攻、2017年10月25日)、23-47頁
・「志賀直哉「クローディアスの日記」と白樺派——「圧迫せず、圧迫されず」——」、『日本研究』第75号(韓国外国語大学校日本研究所、2018年3月30日)、33-54頁
- (3) 学会、研究会発表
・「志賀直哉「クローディアスの日記」と白樺派」、韓国外国語大学校日本語大学・日本研究所学術交流シンポジウム「日本近現代文学の諸相——比較文学比較文化の視点から」(ソウル、韓国外国語大学校)、2017年6月3日
・「Blake: “The Sick Rose” and “The Tyger”——三木露風、千家元麿とともに」、第36回イギリス・ロマン派講座(東京、日本女子大学)、2017年6月24日

(4) 書評、記事、エッセー、その他

・「型のある空間」、『観世』84巻7号(檜書店、2017年7月1日)、16-17頁

(5) 辞書編纂、翻訳、上演等、その他

・ G. E. Bentley Jr with the assistance of Hikari Sato for Japanese publications, of Li-Ping Geng for Chinese Publications, and of Fernando Castanedo for Spanish publications, 'William Blake and His Circle: A Checklist of Publications and Discoveries in 2016', *Blake/ An Illustrated Quarterly* 51 (University of Rochester, 2017), <http://blake.lib.rochester.edu/blakeojs/index.php/blake/index>

2. 教育実績

(1) 前期課程担当科目

英語中級、総合科目比較文学

(2) 後期課程担当科目

テキスト精読法V、比較文学論II、専門英語(3)

(3) 大学院担当科目

文化コンプレクシティ演習II

3. 学内行政業務

英語部会予算委員、英語部会TA委員、超域文化科学専攻予算委員

菅原 克也

1. 研究・研究成果の公刊

(1) 著書

1. 単著

・『小説のしくみ』(東京大学出版会、2017年4月)

(4) 書評

・増田裕美子『漱石のヒロインたち』(新曜社、2017年)

・『図書新聞』3316号(2017年8月19日発行)

・橋本順光／鈴木禎宏編著『欧州航路の文化誌——寄港地を読み解く』(青弓社、2017年)

・西原大輔『日本人のシンガポール体験——幕末明治から日本占領下・戦後まで』(人文書院、2017年)

・『比較文学』第六十巻(2018年3月)

2. 教育実績

(1) 前期課程担当科目

英語一列

(2) 後期課程担当科目

比較研究の理論、比較日本文化論II

(3) 大学院担当科目

比較文学比較文化演習VI

3. 学内行政業務

総合文化研究科図書館長

田口 一郎

1. 研究・研究成果の公刊

(2) 論文

1. 単著

- ・「謝榛小傳」からみる『列朝詩集』(野村鮎子、田口一郎、和泉ひとみ、松村昂「詩人の傳記と批評はどのように形づくられるか—『列朝詩集小傳』を例に—」第二部所収)、「日本中国学会2017年度研究集録」(<http://nippon-chugoku-gakkai.org/utf8/shuroku/2017/b00.pdf>)

2. 教育実績

(1) 前期課程担当科目

古典中国語、初年次ゼミナール、人文科学ゼミナール

(2) 後期課程担当科目

学際日本文化論演習Ⅱ

(3) 大学院担当科目

比較文学比較文化演習、比較詩学Ⅱ

3. 学内行政業務

学生委員、駒場祭委員、オリエンテーション委員、奨学委員

谷口 洋

1. 研究・研究成果の公刊

(2) 論文

1. 単著

- ・「神話・小説・著述——『史記』故事世界的三個維度」『杭州師範大学学报』(社会科学版) 40-2 pp. 102-109 2018年3月
 - ・「試論西漢士人的宋玉情結」『信陽師範学院学报』(哲学社会科学版) 37-1 pp. 1-5 2017年1月〔前年度補遺〕
- #### (3) 学会、研究会発表
- ・浅談揚雄“擱下賦筆” 中国辞賦理論首屆國際高端學術討論會 四川師範大学 2017年10月
 - ・論劉向的「九歎」——西漢擬騷的歸結、東漢魏晉騷體賦的濫觴 中国屈原学会第十七屆年會 雲南大学 2017年11月
 - ・神話・小説・著述——『史記』故事世界的三個維度 第十四屆先秦兩漢學術國際研討會 天主教輔仁大学 2017年11月

2. 教育実績

(1) 前期課程担当科目

初年次ゼミナール文科、ことばと文学Ⅱ、日本文化論Ⅱ

(2) 後期課程担当科目

東アジア文化論、東洋古典学

(3) 大学院担当科目

多元文化協力論Ⅱ、社会の自立と共同Ⅱ

(4) 他学部、他研究科、他大学の授業科目

楚辞「天問」精読(人文科学研究科)、中国語学中国文学特殊講義(文学部)

3. 学内行政業務

前期部会国文・漢文学部会主任、大学院比較文学比較文化コース運営委員、
人間の安全保障プログラム運営委員

田村 隆

1. 研究・研究成果の公刊

(1) 著書

1. 単著

・『省筆論——「書かず」と書くこと』(東京大学出版会、2017年7月)

3. 共著

・『源氏物語 一』(編集協力、岩波文庫、2017年7月)

・『源氏物語 二』(編集協力、岩波文庫、2017年11月)

・『源氏物語 三』(編集協力、岩波文庫、2018年3月)

(2) 論文

1. 単著

・「在原業平「月やあらぬ」歌再考」(『超域文化科学紀要』22号、2017年10月)

(3) 学会、研究会発表

・「業平の帯刀——嵯峨本『伊勢物語』の挿絵」(第1回「書物同好者の相談并ニ懇談会」2017年6月4日、九州大学附属図書館)

・「科研「狩野亨吉文書の調査を中心とした近代日本の知的ネットワークに関する基礎研究」進捗報告 付・『風俗文選犬註解』について」(第2回「書物同好者の相談并ニ懇談会」2017年9月10日、九州大学附属図書館)

・「恋歌の返事」(「図書館まつり特別講座」2017年11月4日、鳥取県北栄町図書館)

・「音無文庫本『うつほ物語』について」(第4回「書物同好者の相談并ニ懇談会」2018年2月3日、九州大学附属図書館)

・「王昭君説話の語り方」(科研東アジア古典学特別講義「漢籍と日本」、2018年3月12日、浙江工商大学(中国杭州市))

・「一高旧蔵書と狩野亨吉」(「狩野亨吉研究会」2018年3月21日、東京大学駒場キャンパス)

(4) 書評、記事、エッセー、その他

・「展覧会カタログ評 徳川美術館・蓬左文庫開館八十周年記念「全点一挙公開源氏物語絵巻」展」(『比較文学研究』103号、2017年9月)

・「教科別東大教員からのエール」(『東京大学新聞』2814号、2017年9月12日)

(5) 辞書編纂、翻訳、上演等、その他

・『伊勢物語のかがやき 鉄心齋文庫の世界』(展示リーフレット、共著、国文学研究資料館、2017年10月)

2. 教育実績

(1) 前期課程担当科目

初年次ゼミナール文科、日本文化論Ⅰ、ことばと文学Ⅱ、全学自由研究ゼミナール(学生がつくる大学の授業「反転授業をデザインしよう」)

(2) 後期課程担当科目

日本文学、日本文化研究法Ⅰ

- (3) 大学院担当科目
文化コンプレキシティ演習VI

3. 学内行政業務

教養教育高度化機構アクティブラーニング部門兼務教員、学生委員、文化活動施設運営協議会学部側構成員、環境委員、教養学部オルガン委員、駒場博物館運営委員、国文・漢文学部会時間割担当、学際日本文化論コース教務担当、高校生のための金曜特別講座担当「教科書の「若紫」」(2017年12月22日)

||| 出口 智之

1. 研究・研究成果の公刊

- (2) 論文
1. 単著
 - ・「中里介山作・石井鶴三画「大菩薩峠」と「挿絵事件」の背景—挿絵制作の時代的転換と旧著作権法の解釈について—」、『信州大学附属図書館研究』第7号(信州大学附属図書館、2018年1月)、29～47頁
 - (3) 学会、研究会発表
 - ・「明治中期における小説と口絵・挿絵の関係について」、19世紀文学研究会、法政大学、2017年9月30日
 - ・「明治文学と絵画—小説と口絵・挿絵の関係をめぐる諸問題」、幕末明治文化研究会、明星大学、2017年12月2日
 - ・「近代文学と口絵・挿絵の問題—絵画から読む小説」、第六回文学と美術研究会、立教大学、2018年3月8日
 - (4) 書評、記事、エッセイ、その他
 - ・「『三人冗語』『雲中語』の批評姿勢」(『文京区立森鷗外記念館二〇一七年度特別展 明治文壇観測 鷗外と慶応3年生まれの文人たち』、文京区立森鷗外記念館、2017年10月)、21頁
 - (5) 辞書編纂、翻訳、上演等、その他
 - ・(辞書)「江戸名所図会」「余と万年筆」「日本(新聞)」(『漱石辞典』、翰林書房、2017年5月)、95・565・658頁

2. 教育実績

- (4) 他学部、他研究科、他大学の授業科目
東海大学文学部および同大学大学院文学研究科にて准教授として勤務。「日本文学基礎ゼミナール1・2」、「近・現代文学講読」、「近代文学特講」、「近・現代文学作品研究B」、「卒業論文プレゼミナール」、「卒業論文1・2」、「近代文学特殊講義B-1」
立教大学文学部「演習E31」、「演習E32」(非常勤講師)
明治大学文学部「日本文学講読I A」、「日本文学講読I B」(非常勤講師)

||| 寺田 寅彦

1. 研究・研究成果の公刊

- (4) 書評、記事、エッセイ、その他
 - ・(連載記事)「学問の図像とかたち イラストから読む教科書」(東京大学出版会『UP』第

534号2017年4月から第545号2018年3月)

- ・(書評)“Sasaki Yusuke. *Cartier-Bresson, Nijisseiki Shashin no Gensetsu Kūkan* (Cartier-Bresson, L’Espace du discours de la photographie du XX^e siècle), Tokyo: Suiseisha, 2016”, *Hikaku Bungaku*, volume LX, 2017, pp. 223-231.
- (5) 辞書編纂、翻訳、上演等、その他
 - ・(参考書) 公益財団法人フランス語教育振興協会編『実用フランス語技能検定試験2017年度版仏検公式ガイドブック準1級』(駿河台出版社、2017年、第2部、167-216頁分担)
 - ・(講演)「小説のイラストレーションと複製技術」(東京大学駒場博物館『新聞の中の文学：黄金時代1900-1939』展覧会、2017年6月17日)

2. 教育実績

- (1) 前期課程担当科目
フランス語一列②、フランス語二列、フランス語中級(演習)
- (2) 後期課程担当科目
フランス演習研究IX、比較日本文化論演習、比較文学論I
- (3) 大学院担当科目
比較文学比較文化演習IV
- (4) 他学部、他研究科、他大学の授業科目
PEARL フランス語初級(慶應義塾大学)

3. 学内行政業務

後期課程教養学科超域文化科学分科比較文学比較芸術コース主任、グローバルコミュニケーション研究センター副センター長、TLP委員、後期教養科目運営委員、教養学部報委員、ピアノ委員、オルガン委員、駒場博物館委員

|| 徳盛 誠

1. 研究・研究成果の公表

- (3) 学会、研究会発表
 - ・「海保青陵「談」の構成——2015海保青陵ワークショップをめぐって」、国際研究集会「海保青陵の時代としての江戸後期——海保青陵没後200年記念研究会——」、2017年9月10日(日)、場所：大阪大学中之島センター
 - ・「一条兼良『日本書紀纂疏』における解釈学とその意義」日本思想史学会2017年度大会、2017年10月28日(土)、場所：東京大学本郷キャンパス
 - ・「一条兼良における日本書紀解釈の態度」『セミナー 東アジア古典学の方法 第36回』、2018年1月19日(金)、場所：東京大学駒場キャンパス
- (4) 書評、記事、エッセー、その他
 - ・エッセー「小宮さん」、『論文集——寺田寅彦・その他』(小宮彰著、花書院、2018年1月)
 - ・書評『*Journal of World Literature, special issue: Chinese Scriptworld and World Literature* (Brill, 2016)』、『比較文学』第六十巻、日本比較文学会、2018年3月
- (5) 辞書編纂、翻訳、上演等、その他
 - ・国際研究集会「海保青陵の時代としての江戸後期——海保青陵没後200年記念研究会——」(2017年9月10日(日)11日(月)、場所：大阪大学中之島センター)をミハヤエル・キンスキー氏(フランクフルト大学)と企画・組織し、大阪大学大学院文学研究科グローバル日本研究クラスター(代表 宇野田尚哉氏)、東芝国際交流財団の協力を得て、開催した。

2. 教育実績

- (1) 前期課程担当科目
初年次ゼミナール文科
- (2) 後期課程担当科目
資料・文献調査法
- (3) 大学院担当科目
文化コンプレクシティ演習IV
- (4) 他学部、他研究科、他大学の授業科目
「比較文学・文化講義」(二松学舎大学)

3. 学内行政業務

国際交流センター副センター長、奨学委員

永井 久美子

1. 研究・研究成果の公刊

- (1) 著書
 3. 共著
 - ・「『病草紙』文献目録」、「『病草紙』文献解題」、加須屋誠・山本聡美編『病草紙』中央公論美術出版、平成29年5月25日、pp. 215-218(文献目録)、pp. 219-223(文献解題)
- (2) 論文
 1. 単著
 - ・「近代以後の紫式部像の変遷——三つの肖像とその背景」、『日本研究』第75号、韓国外国語大学校日本研究所、平成30年3月30日、pp. 7-32
- (3) 学会、研究会発表
 - ・「紫式部の近代表象——古典文学の受容と作者像の流布に関する一考察」、第24回鹿島美術財団研究発表会、於・鹿島KIビル(東京都港区)、平成29年5月12日
 - ・「『紫式部日記』の近代」、韓国外国語大学校学術交流シンポジウム「近現代文学の諸相——比較文学比較文化の視点から」、於・韓国外国語大学校日本研究所(韓国ソウル市)、平成29年6月3日
 - ・「『シン・ゴジラ』と日本神話」、仁川大学校日本文化研究所国際シンポジウム「『シン・ゴジラ』と日本の想像力」、於・仁川大学校人文大学(韓国仁川市)、平成29年12月2日
- (4) 書評、記事、エッセイ、その他
 - ・「『あづま路の道のはて』より」、『進学情報センターニュース』第76号、東京大学教養学部進学情報センター、平成29年4月1日、pp. 2-3
 - ・「施設・組織紹介 進学先を考えるとときに——進学情報センターの利用」、『教養学部報』第591号、東京大学教養学部、平成29年5月2日、p. 3 ※青木優氏との共著
 - ・「迷いに迷った進路選択」(特集「東大教員だってたたかう受験生だった」)、東京大学新聞社編『東大2018 特集・たたかう東大』、東京大学新聞社、平成29年8月3日、pp. 30-31
 - ・「新相談室の紹介」、『進学情報センターニュース』第78号、東京大学教養学部進学情報センター、平成29年9月15日、p. 1
 - ・「選択の外因——今だからこそ分かること」、『ニューサポート高校国語』第28号(2017年秋号 特集「選択」)、株式会社東京書籍、平成29年10月1日、pp. 10-11

- ・「未熟者の近況報告——小宮彰先生を偲んで」、小宮彰『論文集——寺田寅彦、その他』花書院、平成30年1月12日、pp. 373-374
- ・「秋の行事のご報告」、東大駒場友の会編「東大駒場友の会会報」東大駒場友の会、平成30年3月15日、p. 1 ※村松真理子氏との共著

2. 教育実績

- (1) 前期課程担当科目
初年次ゼミナール文科
- (3) 大学院担当科目
文化コンプレキシティ演習V
- (4) 他学部、他研究科、他大学の授業科目
口語英語Ⅰ、口語英語Ⅱ(明治大学商学部)、英語Ⅳ(明治大学政治経済学部)、美術論(日本・東洋)／美術論基礎B(一橋大学大学院言語社会研究科)

3. 学内行政業務

進学情報センター教務委員、学生相談協議会委員、オルガン委員会委員、駒場地区過半数代表者副代表

||| 古荘 真敬

1. 研究・研究成果の公刊

- (2) 論文
 1. 単著
 - ・「生ける世界内存在の運動としての気遣い(ゾルゲ)」『現代思想』2018年2月臨時増刊号 総特集=ハイデガー、青土社、2018年1月、pp. 95-110.
- (3) 学会、研究会発表
 - ・「生ける世界内存在の運動としてのゾルゲ」(ハイデガー研究会主催「『存在と時間』刊行90周年記念シンポジウム」、ワークショップ「『存在と時間』の射程」、於 青山学院大学) 2017年11月25日.

2. 教育実績

- (1) 前期課程担当科目
人文科学ゼミナール
- (2) 後期課程担当科目
倫理宗教論演習、現代哲学特殊研究Ⅱ／専門ドイツ語、現代思想
- (3) 大学院担当科目
比較思考分析Ⅱ、超域文化科学演習、超域文化科学特別演習
- (4) 他学部、他研究科、他大学の授業科目
早稲田大学文化構想学部「文化の哲学」(リレー講義のうち3コマ)

||| 前島 志保

1. 研究・研究成果の公刊

- (1) 著書
2. 編著
 - ・長木誠司、ヘルマン・ゴチェフスキ、前島志保 監修『会館芸術 第Ⅱ期 戦中篇』 第一

回配本：第12巻～第17巻(全6巻) ゆまに書房 2017年9月

- ・長木誠司、ヘルマン・ゴチェフスキ、前島志保 監修『会館芸術 第II期 戦中篇』 第二回配本：第18巻～第24巻(全7巻) ゆまに書房 2017年12月

3. 共著

- ・前島志保「現代マスメディアの起源へ——戦間期〈婦人雑誌〉とは何か」 東京大学教養学部編『分断された時代を生きる(知のフィールドガイド)』 白水社 2017年8月
- ・前島志保「解説」長木誠司、ヘルマン・ゴチェフスキ、前島志保 監修『会館芸術 第II期 戦中篇 第19巻』 ゆまに書房 2017年12月
- ・前島志保「拡大される俳句の詩的可能性——世紀転換期西洋と日本における新たな俳句鑑賞の出現」 河野至恩・村井則子編 『日本文学の翻訳と流通——近代世界のネットワークへ(アジア遊学 216)』 勉誠出版 2018年1月

(3) 学会、研究会発表

- ・「モガと主婦——二つの消費者類型の形成と展開」 第11回学際日本駒場フォーラム《モダン・ガールの時代》 東京大学駒場Iキャンパス 18号館4階 コラボレーションルーム4 2017年5月25日
- ・“Dominant, yet Marginalized: The Position of the Mass-Market Women’s Magazine in the Controversies over the Print/Reading Culture in Interwar Japan.” The Second Annual International Conference of the International Association of Japanese Philosophy (IAJP). National Taiwan Normal University, Taipei, Taiwan (Co-organized with Research Center for East Asian Culture and Sinology, National Taiwan Normal University). July 29, 2017.
- ・“The Birth of the Modern Consumer Culture and the ‘Modern Girl’ in Japan.” キャンパス・アジア サマープログラム 東京大学 駒場Iキャンパス KIBER315 2017年8月17日
- ・“Reconfiguring ‘Ga’ and ‘Zoku’ in Modern Times: Mass-Market Women’s Magazines and the ‘Revolution’ of Print Media in Interwar Japan.” (当日正題を“Reconfiguring the Hierarchy of the Print Media”と改題のうえ発表) 15th International Conference of the European Association for Japanese Studies (EAJS) (Universidade Nova de Lisboa, Lisbon, Portugal). August 31, 2017.
- ・“The Revolution in Print/Reading Culture and the Women’s Magazine in Interwar Japan.” Université de Strasbourg, France (Le Patio, Bâtiment. 4, 3e étage, salle 4305). Sept. 4, 2017. (招待講演)
- ・「19世紀後半から20世紀前半における視覚表現による報道媒体——日本と欧米の場合を中心に——」 20世紀メディア研究所 第115回研究会 早稲田大学 早稲田キャンパス 3号館808号室 2017年10月28日
- ・“Photo Reportage Appearing in an Interwar- and War-time Japanese Women’s Magazine *Shufu no tomo*.” ワークショップ「日中戦争をめぐる報道と宣伝及びインテリジェンス(抗日战争时期媒体报道与宣传活动工作坊)」(上海師範大学、早稲田大学現代政治経済研究所 20世紀メディア研究所共催 科学研究費基盤(B)「日中戦争をめぐる国際報道と宣伝戦」助成事業) 上海師範大学 2017年11月4日(招待講演)
- ・「拡大される俳句の詩的可能性——世紀転換期日本と西洋における俳句、出版、翻訳」 国際日本文化研究センター共同研究「投企する古典性——視覚／大衆／近代」(研究代表者 荒木浩 国際日本文化研究センター教授) 共同研究会(国際日本文化研究センター

2017年1月20日、21日開催) 2017年1月21日(招待講演)

2. 教育実績

- (1) 前期課程担当科目
国際・地域II (PEAK)、人文・社会科学ゼミナール (PEAK)、
学術フロンティア講義 (PEAK)
- (2) 後期課程担当科目
比較文学比較文化論演習IV、テキスト精読法VII、国際日本研究文献演習I、
国際日本研究文献演習Iia、国際日本研究文献演習Iib
- (3) 大学院担当科目
文化コンプレキシティ演習I(S)(明治期の新聞・雑誌を概観するV)、
文化コンプレキシティ演習I(A)(明治期の新聞・雑誌を概観するVI)
- (4) 他学部、他研究科、他大学の授業科目
「Introduction to Cultural History of Japan」、「Media and Modernity in Japan」(法政大
学)

3. 学内行政業務

国際日本研究コース主任、教育研究経費委員、社会連携委員、EALAI執行委員、
AIKOM委員、GFD委員、後期TLP委員

||| 三浦 篤

1. 研究・研究成果の公刊

- (1) 著書
3. 共著
 - ・『西洋美術の歴史、19世紀：近代美術の誕生、ロマン派から印象派へ』(尾関幸、陳岡めぐみと共著)、中央公論新社、2017年
- (2) 論文
 1. 単著
 - ・ « Séparation et résonance: peinture et écriture en Occident et en Extrême-Orient, Deux Japonaiseries de Vincent van Gogh », Pierre Marc de Biasi et Anne Herschberg-Pierrot, *L'œuvre comme processus*, Paris, CNRS, 2017, p. 323-328.
 - ・ « Collectionneurs japonais de peinture moderne française au début du XXe siècle », *Chefs d'œuvre du Bridgestone Museum of Art - Ishibashi Foundation*, cat. exp., Musée de l'Orangerie, 2017, p. 22-41.
 - ・ 「西洋留学と明治洋画」『國華』1467号 特輯「西洋留学と明治洋画」、2018年1月20日、p. 27-44.
- (3) 学会、研究会発表
 - ・ Keynote speech: « The Politics of Contemporary Japanese Paintings: From the history paintings of former Number 1 High School to the war paintings of Tsuguharu Fujita », International Workshop on Reflective Transitions of Politics in Japanese Art, University of East Anglia, UK, 24 August 2017.
 - ・ 招待講演: 「近代日本画と西洋絵画」、「狩野芳崖と四天王 近代日本画、もうひとつの水脈」展記念講演、福井県立美術館、2017年9月23日
 - ・ 招待講演: 「近代フランスにおける革命と画家たち革命の近代—普仏戦争、パリ・コミュニ

ンを中心に」、講座「革命の近代」、鹿島美術財団、2017年10月13日

- ・発表：「8K映像と美術史研究の可能性——ルーヴル美術館の作品を例に」、国際シンポジウム「デジタルと芸術」、東京大学駒場キャンパス、学祭交流ホール、2017年11月17日
 - ・招待発表：「19世紀フランス美術における古代美術の受容—アカデミスム、ヴィラ・メディチ、そして前衛へ—」、シンポジウム「近世・近代の古代美術受容と歴史観の形成」名古屋大学人文学研究科総合棟7階カンファレンスホール、2017年11月25日
 - ・発表：「一高歴史画と西洋画法——フェノロサの教えとの関わり」、東京大学駒場博物館第一高等学校絵画資料修復記念「知られざる明治期日本画と『一高』の倫理・歴史教育」展記念シンポジウム、東京大学駒場キャンパス国際交流ホール、2017年12月2日
 - ・発表：「8K映像と美術品撮影——ルーヴル美術館の場合」、第10回恵比寿映像祭関連シンポジウム「映像のヴィジブル／インヴィジブル」、日仏会館ホール、2018年2月15日
- (4) 書評、記事、エッセー、その他
- ・“Portrait de Shôjirô Ishibashi, un industriel japonais au goût prononcé pour l’art occidental », *Beaux-Arts Magazine*, avril 2017, pp. 4-11.

2. 教育実績

- (1) 前期課程担当科目
総合科目A「美術論」(S)、総合科目B「比較芸術」(A)
- (2) 後期課程担当科目
芸術作品分析法III(S)、比較芸術論II(A)／フランス研究演習V(A)
- (3) 大学院担当科目
比較形象論II(S/A)
- (4) 他学部、他研究科、他大学の授業科目
東北大学集中講義、大学院文学研究科・文学部、11月6日—9日

3. 学内行政業務

超域文化科学専攻長、比較文学比較文化コース主任、フランス語・イタリア語部会予算委員、駒場博物館館長

||| 渡辺 美季

1. 研究・研究成果の公刊

- (1) 著書
 3. 共著
 - ・『日本近世生活絵引』南九州編編纂共同研究班編『日本近世生活絵引』南九州編、神奈川大学日本常民文化研究所非文字資料研究センター、2018年2月、P. 1-186(全体の編集および「解題と考察I『薩藩勝景百図』による南九州生活絵引」などを執筆)
- (2) 論文
 1. 単著
 - ・“The Elements of Concealment in Ryukyuan Diplomacy between Japan and China in Early Modern Times.” *Memoirs of the Research Department of the Toyo Bunko* 75, 2018 (March), pp. 87-117.

2. 共著

(3) 学会、研究会発表

- ・「琉日邊界的雙面性：以《渡琉日記》為題材」、海洋亞洲的邊緣與中心：帝國、貿易圈與港市工作坊、台北：中央研究院、2017年9月1日
- ・「近世の琉球と隠蔽政策」、第50回 琉球大学史学会大会、琉球大学、2017年12月9日
- ・『薩藩勝景百図』による南九州生活絵引」、2017年度非文字資料研究センター第5回公開研究会「絵引から見た近世の南九州」、神奈川大学、2018年3月10日

(4) 書評、記事、エッセー、その他

- ・書評：島村幸一『琉球文学の歴史叙述』（勉誠出版、2015年）、『日本歴史』832、2017年9月
- ・記事：「444年間の外交文書 琉球王国 歴代宝案の世界〈下〉」、『琉球新報』朝刊、2017年6月29日（連載[上中下3回]の1回分）

2. 教育実績

(1) 前期課程担当科目

初年次ゼミナール、歴史Ⅱ

(2) 後期課程担当科目

日本歴史文化論、学際日本文化論演習Ⅰ

(3) 大学院担当科目

文化コンプレキシティ演習Ⅲ

3. 学内行政業務

グローバル共生プログラム(GHP)運営委員